

土木工学科卒業生の活躍

皆さんの先輩にあたる土木工学科卒業生のOB・OGは、社会の様々な分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。

四元 聡子 さん

平成18年度 卒業
東日本旅客鉄道株式会社 建設工事事務部



これまで、地域社会と連携した駅改良プロジェクトや首都直下地震に備えた耐震補強工事の推進に携わってきました。当社は東日本エリアという広範囲の鉄道ネットワークを有し、社会インフラとして重要な役割を担っています。この経営基盤を充実・強化するプロジェクトの企画と安全かつ着実な推進を行うのが、私が所属する建設工事事務部の使命です。その中でインハウスエンジニアとして、推進す



べきプロジェクトの適切な設計や施工計画を考え、工期や工事費を算出し、早く・安全に・良い品質を確保するための施工監理の業務を行っています。国や自治体等と連携し、

まちづくりへの貢献を担うことは責任重大ですが、その分やりがいや喜びもひとしおです。これまでの業務で一番嬉しかった出来事は、駅改良工事の担当時代、施工監理を行うために夜間作業に行った際にその駅をご利用になったお客さまから「駅がきれいになって使いやすくなったよ、ありがとう」と声をかけていただいたことです。鉄道工事はお客さまがご利用されない時間帯や目の届かない箇所

で業務をしていますが、地域のお客さまの生活を便利にする仕事が出来ていると感じた瞬間でした。

現在は、インハウスエンジニアとしての技術力を高めるために、技術アカデミーという一年間の育成プログラムで、社内外の講義を受けながら日々研鑽を積んでいます。

土木工学は社会基盤を支える重要な学問です。皆さんと土木分野の一員として、一緒に仕事が出来たら素敵だなと思います。

谷村 弘章 さん

平成23年度 卒業
鹿島建設株式会社 関東支店 新東名高速道路 羽根トンネル工事事務所



入社して4年が経ち、下水処理場の施設や地下鉄新駅工事を経験し、現在は新東名高速道路のトンネル現場で仕事をしています。

ゼネコンの魅力は2つあります。1つ目は、造る構造物の規模の大きさ、プロジェクトの社会貢献度の大きさです。みなさんが日頃何気なく使っている水やガスや電気、線路や道路、携帯電話等、生活基盤の全てに「土木工学」が関わっています。ゼネコンでは、これ



らの計画・設計・施工・研究開発等、全てに携わることができます。プロジェクトが完成した時の達成感は格別で、プロジェクトを待ち望んでいた人達や苦労をともにした仲間

からの感謝の言葉や笑顔や涙、全てが私の宝物です。

2つ目の魅力は、「人との繋がり」です。構造物や社会貢献度が大きいほど、完成までに関わる人も多くなります。ゼネコンは、それらに関わる全ての人を束ねるリーダー的な仕事も行います。一人では到底できない仕事だからこそ、1つのチームをマネジメントしながら完成を目指します。喜怒哀楽全てを共有し、心が通じ合う仲間になった時ほど仕事楽しい時はありません。「人との繋がりの中で生きるリーダー」それがゼネコンマンです。そして、その繋がりは日本だけでなく海外にまで及びます。言葉は違えども、「土木工学」「人との繋がり」この2つを武器に、世界で活躍することができます。目大には、多くの仲間との「繋がり」を育みながら「土木工学」を学ぶことのできる環境があります。いつか世界のどこかで、土木の力を付けたみなさんと「繋がる」ことを楽しみにしています。